

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年11月8日

上場会社名 株式会社不動産テトラ 上場取引所 東
 コード番号 1813 URL http://www.fudotetra.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥田 眞也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部財務部長 (氏名) 北川 昌一 (TEL) (03)5644-8500
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	33,361	4.6	2,332	22.9	2,332	19.4	1,609	19.9
2019年3月期第2四半期	31,882	13.3	1,898	20.9	1,954	21.7	1,342	21.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,626百万円(15.8%) 2019年3月期第2四半期 1,404百万円(8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第2四半期	円 銭 100.78	円 銭 —
2019年3月期第2四半期	82.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年3月期第2四半期	百万円 48,655	百万円 26,782	% 54.3
2019年3月期	53,826	26,439	48.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 26,440百万円 2019年3月期 26,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	5.8	3,750	4.7	3,750	2.9	2,500	2.5	156.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	16,489,522株	2019年3月期	16,489,522株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	655,335株	2019年3月期	297,793株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	15,962,591株	2019年3月期2Q	16,282,593株

(注) 当社は、2017年3月期第2四半期より、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が保有する当社株式(2020年3月期第2四半期:105,373株)を、自己株式に含めて記載しております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

建設業界におきましては、民間建設投資は建築着工床面積に翳りがあるものの、公共建設投資は前年度の2次にわたる補正予算の執行に加えて、当年度の当初予算の増もあり、総じて堅調に推移いたしました。

当社グループの業績につきましては、受注高は土木事業で新規工事の受注が減少し35,650百万円（前年同四半期比25.9%減）となりましたが、手持ち受注高は79,535百万円と高水準な状況を維持しており、売上高は33,361百万円（前年同四半期比4.6%増）と増収となりました。

また、利益面では工事採算性が改善したことで、営業利益は2,332百万円（前年同四半期比22.9%増）、経常利益は2,332百万円（前年同四半期比19.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,609百万円とそれぞれ増益となりました。

報告セグメントの業績は次の通りです。（セグメント情報の詳細については、9ページをご覧ください。）

(単位：百万円)

		前第2四半期	当第2四半期	増減
期首手持ち受注高	土木事業	41,272	59,961	18,689
	地盤改良事業	16,305	17,012	706
	ブロック事業	223	464	241
	その他	59	44	△15
	調整額	△89	△235	△146
	全社計	57,770	77,245	19,475
受注高	土木事業	29,617	17,107	△12,511
	地盤改良事業	16,606	16,342	△264
	ブロック事業	1,858	2,045	187
	その他	300	287	△13
	調整額	△243	△130	113
	全社計	48,137	35,650	△12,487
売上高	土木事業	13,648	16,807	3,159
	地盤改良事業	17,067	14,803	△2,265
	ブロック事業	1,119	1,813	694
	その他	306	292	△14
	調整額	△258	△353	△95
	全社計	31,882	33,361	1,479
営業利益	土木事業	125	735	610
	地盤改良事業	1,900	1,370	△529
	ブロック事業	△112	208	320
	その他	14	14	1
	調整額	△29	4	33
	全社計	1,898	2,332	434
次期繰越受注高	土木事業	57,241	60,261	3,019
	地盤改良事業	15,844	18,551	2,707
	ブロック事業	962	697	△266
	その他	53	38	△14
	調整額	△75	△13	62
	全社計	74,026	79,535	5,509

※当該連結累計期間前に外貨建てで受注した海外工事で、当該四半期連結累計期間中の為替変動により、請負金額に増減があるものについては、期首手持ち受注高に反映しております。

(土木事業)

受注高は、前期にあった大型民間工事がなく17,107百万円（前年同四半期比42.2%減）となりましたが、売上高は、豊富な期首手持ち受注高から16,807百万円（前年同四半期比23.1%増）と増収となり、加えて工事採算性の改善もあり営業利益は735百万円と増益となりました。

(地盤改良事業)

受注高は、ほぼ前期並みの16,342百万円（前年同四半期比1.6%減）、売上高は手持ち工事の遅れから14,803百万円（前年同四半期比13.3%減）と減収となったことで、営業利益は1,370百万円と減益となりました。

(ブロック事業)

主力の型枠賃貸が順調で、受注高は2,045百万円（前年同四半期比10.1%増）となったことに加え、その進捗も順調で、売上高は1,813百万円（前年同四半期比62.0%増）と増収となり、営業利益は208百万円（前年同四半期112百万円の営業損失）の黒字となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に支払サイトの短縮に伴う買掛債務等の圧縮により現金預金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べて5,171百万円減少し、48,655百万円となりました。

負債は、上記と同様の理由で電子記録債務が減少したこと等により前連結会計年度末に比べて5,515百万円減少し、21,873百万円となりました。

純資産は、当四半期純利益の計上があったものの、当第2四半期連結会計期間での剰余金の配当及び自己株式の取得もあり、前連結会計年度末に比べて343百万円増加し、26,782百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、売上高はブロック事業で増加するものの、土木事業及び地盤改良事業ではほぼ計画通りと予想しており、前回発表予想の71,000百万円から修正はありません。

利益につきましては、土木事業及び地盤改良事業で主に期首手持ち工事の採算性が改善することに加えて、ブロック事業で売上高が計画を上回ることから、営業利益は3,750百万円、経常利益は3,750百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,500百万円となる予想であり、前回発表予想を修正いたします。

(単位：百万円)

		前回発表予想	今回修正予想	差異額
売上高	土木事業	33,800	33,800	—
	地盤改良事業	33,500	33,500	—
	ブロック事業	3,180	3,500	320
	その他・調整額	520	200	△320
	計	71,000	71,000	—
営業利益	土木事業	920	1,050	130
	地盤改良事業	2,120	2,350	230
	ブロック事業	230	400	170
	その他・調整額	180	△50	△230
	計	3,450	3,750	300
経常利益		3,450	3,750	300
親会社株主に帰属する 当期純利益		2,250	2,500	250

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	12,391	7,119
受取手形・完成工事未収入金等	20,660	20,680
電子記録債権	1,585	2,445
有価証券	2,000	1,500
未成工事支出金等	917	1,377
販売用不動産	267	267
材料貯蔵品	515	622
未収入金	2,282	1,212
預け金	2,810	3,161
その他	721	640
貸倒引当金	△82	△82
流動資産合計	44,068	38,942
固定資産		
有形固定資産	5,889	5,979
無形固定資産	178	282
投資その他の資産		
投資有価証券	1,840	1,848
その他	1,962	1,706
貸倒引当金	△111	△102
投資その他の資産合計	3,692	3,452
固定資産合計	9,759	9,713
資産合計	53,826	48,655
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	7,250	7,394
電子記録債務	10,750	5,751
短期借入金	900	—
未払法人税等	694	569
未成工事受入金等	3,576	4,862
引当金	1,085	602
その他	1,298	1,042
流動負債合計	25,553	20,220
固定負債		
引当金	51	51
退職給付に係る負債	1,511	1,288
その他	273	315
固定負債合計	1,835	1,653
負債合計	27,388	21,873

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	14,756	14,756
利益剰余金	6,605	7,402
自己株式	△164	△632
株主資本合計	26,197	26,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122	127
為替換算調整勘定	△152	△153
退職給付に係る調整累計額	△61	△60
その他の包括利益累計額合計	△91	△85
非支配株主持分	332	342
純資産合計	26,439	26,782
負債純資産合計	53,826	48,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高		
完成工事高	30,541	31,306
兼業事業売上高	1,341	2,055
売上高合計	31,882	33,361
売上原価		
完成工事原価	25,807	26,420
兼業事業売上原価	837	1,223
売上原価合計	26,644	27,643
売上総利益		
完成工事総利益	4,734	4,886
兼業事業総利益	503	832
売上総利益合計	5,237	5,718
販売費及び一般管理費	3,340	3,386
営業利益	1,898	2,332
営業外収益		
受取配当金	59	62
特許実施収入	12	7
その他	24	13
営業外収益合計	95	82
営業外費用		
支払利息	12	10
支払手数料	11	9
支払保証料	12	20
為替差損	—	14
その他	4	29
営業外費用合計	39	82
経常利益	1,954	2,332
特別利益		
固定資産売却益	7	10
投資有価証券売却益	38	—
その他	1	—
特別利益合計	47	10
特別損失		
固定資産売却損	6	—
固定資産除却損	0	5
損害賠償金	0	0
その他	2	0
特別損失合計	9	6
税金等調整前四半期純利益	1,992	2,336
法人税、住民税及び事業税	350	447
法人税等調整額	288	268
法人税等合計	638	716
四半期純利益	1,354	1,621
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,342	1,609

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,354	1,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	5
為替換算調整勘定	△7	△1
退職給付に係る調整額	49	2
その他の包括利益合計	51	5
四半期包括利益	1,404	1,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,392	1,614
非支配株主に係る四半期包括利益	12	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,992	2,336
減価償却費	570	495
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△164	△221
その他の引当金の増減額(△は減少)	△858	△482
受取利息及び受取配当金	△60	△63
支払利息	12	10
投資有価証券売却損益(△は益)	△38	0
売上債権の増減額(△は増加)	△1,500	△881
未成工事支出金等の増減額(△は増加)	△935	△459
仕入債務の増減額(△は減少)	310	△4,855
未成工事受入金等の増減額(△は減少)	44	1,286
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,692	△40
未収入金の増減額(△は増加)	△200	1,070
預け金の増減額(△は増加)	△127	△350
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△300	91
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△689	△303
その他	△12	△106
小計	△3,643	△2,479
利息及び配当金の受取額	60	63
利息の支払額	△12	△9
法人税等の支払額	△336	△480
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,932	△2,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の増減額(△は増加)	△500	500
有形及び無形固定資産の取得による支出	△805	△624
有形固定資産の売却による収入	30	17
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	206	1
会員権の取得による支出	△9	△6
貸付けによる支出	△0	△1
貸付金の回収による収入	5	4
その他	1	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,073	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△900	△900
リース債務の返済による支出	△100	△57
自己株式の取得による支出	△400	△469
親会社による配当金の支払額	△816	△806
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△8	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,227	△2,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,235	△5,262
現金及び現金同等物の期首残高	20,376	12,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,140	7,108

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土木事業	地盤改良 事業	ブロック 事業	合計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	13,011	17,615	1,112	31,739	143	31,882	—	31,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	637	△548	7	95	163	258	△258	—
計	13,648	17,067	1,119	31,834	306	32,139	△258	31,882
セグメント利益又は損失(△)	125	1,900	△112	1,913	14	1,926	△29	1,898

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の保険等のサービス事業等からなります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△29百万円には、セグメント間取引消去5百万円、全社費用△30百万円、その他の調整額△4百万円が含まれています。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土木事業	地盤改良 事業	ブロック 事業	合計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	16,482	14,912	1,807	33,200	161	33,361	—	33,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	325	△109	6	222	131	353	△353	—
計	16,807	14,803	1,813	33,422	292	33,714	△353	33,361
セグメント利益	735	1,370	208	2,314	14	2,328	4	2,332

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の保険等のサービス事業等からなります。

2 セグメント利益の調整額4百万円には、セグメント間取引消去19百万円、全社費用△15百万円、その他の調整額△1百万円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。